

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0106104 - 02000

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月01日

事業名	高病原性鳥インフルエンザ対策事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等			所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体			農林商工部 農政課 担当: 寺田
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 233 <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 時限事業 (平成 20年度迄)	関連法令・条例等	家畜伝染病予防法			

【事業の概要】

- ① 施策で目指す目標との関連付け
第2章6 暮らしの安全と安心を守る
防災体制の構築として、高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、資材を備蓄する。
- ② 事業を実施する必要性
高病原性鳥インフルエンザの発生については、国内のどの地域でも発生する可能性があると考えられている。発生時に被害を最小限に抑えるためには資材を備蓄し、速やかに防疫、予防を行える体制づくりが必要である。
- ③ 未実施事項
特に無し
- ④ 他にも効果が見込める施策があるか
第2章3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる
＝ 発生時に被害を最小限に抑えることにより、高病原性鳥インフルエンザの発生による風評被害で鶏卵、鳥肉の販路が縮小されることを防ぎ、南丹ブランドを維持する。

【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額		千円			312		
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等		千円			0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0		
	国・府支出金	千円			306		
	地方債	千円			0		
	一般財源	千円			6		
職員等従事人員		人/年	—	—	0.05		
人件費		千円	—	—	249		
事業費総額		千円	—	—	561		

【主な支出の内訳】

備蓄資材の整備 (需用費312千円)

【近隣市町村の取り組み状況】

高病原性鳥インフルエンザの発生時に備え、資材の備蓄は各市町村で行われているが、財源は様々である。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

※前年事業評価なし

【所属長総括評価】

- ① 有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
庁内鳥インフルエンザ対策委員会の設置。
- ② 当該事業のアピール事項
被害が蔓延する前の予防措置として有効。
- ③ 反省点、今後の展開・方向性等
対策協議会の実施訓練の実施。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	233	事業名	高病原性鳥インフルエンザ対策事業		
事業CD	106104-02000	細事業名			
所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当	寺田

106104-02000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
家畜本衛生所との打ち合わせ	必要資材について京都府南丹家畜保健衛生所と打ち合わせを行い、必要資材及び適正資材を選定	1~2月	11品目を選定
資材の見積、発注、契約	市内3業者に資材の見積を依頼し、最低落札見積業者と随意契約、資材の発注	2月	11品目を発注
物品納品、検収	物品の納品を受け、検収	2~3月	11品目を導入
資材分配	本庁及び各支所へ資材の必要数を分配	2~3月	本庁及び3支所へ分配